

# 冬の手稲山、 白い散策路



◀ロープウェー山頂駅横から見た石狩湾と、はるかにかすんで見える増毛、樺戸連山



▲展望台から西方向の遠景。山並みから頭を出す羊蹄山(中央)



▶▶陽光を浴びる砂糖菓子のような木々と氷柱のようにそそり立つアンテナ群



▼朝日を浴びてオレンジ色に輝く手稲山山頂部。青い空とのコントラストが美しい



**輝く雪原、どこまでも  
広がる山並み**

午前8時を過ぎると、手稲山ロープウェー山ろく駅には、スキーやスノーボードを楽しむために、既に多くの人たちが集まり、ロープウェーの出発を待っています。山ろくからは朝焼けを受けてオレンジ色に輝く山頂とアンテナ群が青空に映えて見えます。

山頂の展望台を目指し、ロープウェーは山ろく駅を出発。5分ほどで山頂駅に到着しました。

山頂駅から、さらに深い雪をこぎながらアンテナや管理棟の間を縫うように山頂を目指して進み、雪まみれになつてやっと到着した展望台。見渡すと石狩湾から札幌市街の全景、さらに無意根山から余市岳に広がる山並みの中に羊蹄山の山頂部までが一望できました。「来て良かった」と実感しました。

にぎわうスキー場以外は、私たちの訪れを拒んでいるかのように見える冬の手稲山ですが、白い散策路の深雪に一歩踏み込んでみると、素晴らしい風景を発見できるかもしれません。